

鳥屋野潟 小型EVで観光

滞在型ツアー協議会で提案

小型電気自動車（EV）を活用した鳥屋野潟（新潟市）の観光地化を目指す「小型モビリティ協議会」が16日、新潟市中央区で開かれ、小型EVを使った産業の創出と鳥屋野潟の観光地としての可能性について議論が交わされた。

県が進める小型モビリティ関連産業創出事業の一環として、県から委託を受けたデザイン会社「U・STYLE」（同区）が2月下旬から実際の小型EVを使って観光ルートの調査を進めてきた。

この日の協議会には県や新潟市などの関係者約20人が出席し、調査の中間報告が発表された。同社の担当者鳥屋野潟の魅力として



鳥屋野潟の観光地化に向けてアドバイザーする金丸さん（16日、新潟市中央区で）

生物の多様性、土地や環境に適応した人の営みなどを挙げたうえで、鳥屋野潟の食材を使った料理で食事をとって小型EVを走らせる滞在型ツアーなどを提案。今後の課題として、ゲストハウスの整備を挙げた。アドバイザーで参加している食環境ジャーナリスト金丸弘美さん（63）は、「農業と観光の組み合わせがよかった。地域から新潟らしさをデザインするのが大事」と話していた。